

No.7 保育及び学校・家庭教育の充実（青少年・青年） （人権・社会教育課）

令和5年度までにめざす姿

高校生サークルや青年団の地域づくり活動への参加・参画の仕組みづくりに取り組み、仲間と協働できる地域リーダーを育成します。

令和2年度にめざした成果

- ①高校生サークルの活動を充実させます。
- ②青年団の活動を充実させます。
- ③青少年団体の活動を推進します。

令和2年度にめざした活動

- ①高校生サークル国際交流事業を実施します。（韓国ハンリム大学）
- ②青年団の県外交流を実施します。（徳島県石井町）
- ③リーダー合宿を開催します。

令和2年度の成果

- ①地域の理解と協力により、常設展示場での一式飾りづくりを実施しました。
- ②例年の活動の他に中学生とつながる企画を検討しています。
- ③新しく子ども会1団体の加入がありました。

令和2年度の問題

人の集いや交流等が中心の事業なので、今年度のような状況下にあっては、活動内容等に苦慮しています。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①主体的な活動の展開を図っていきたいが、コロナ禍においては感染予防を最優先とし、地域での活動を精選していきます。
- ②地域課題解決や青年団のPRも含め、収穫できたもち米の成人式以外の活用について検討していきます。また、中学生との交流企画を実現させます。
- ③コロナ禍において、各単位子ども会での困りごとに対して相談できる環境を整えます。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①仲間と集うことの楽しさに趣を置いた活動を状況に応じて企画し、新メンバーの勧誘に努めます。
- ②コロナ禍において、他県の青年団との交流は難しい状況です。
現在取り組んでいる活動をいかに主体的に継続できるのか青年団メンバー主導で検討します。
- ③夏に開催を計画していた日野郡・西伯郡7町村合同でのリーダー合宿は中止になったので、南部町単独での冬のリーダー合宿を計画します。

(3) 新たに取組む方策

- ①②③ともに、5年後、10年後のイメージを事務局だけでなく、メンバー同士でつくり上げます。
SNSを有効に活用し、活動状況の発信やリモートでの定例会や打合せも導入していきます。